

**食品ロス削減に係る普及啓発業務  
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）**

項 目		内 容
1	日 時	令和8年5月14日 13時30分から15時00分まで
2	場 所	Web（Zoom）
3	出席委員	環境県民局循環型社会課長 環境県民局消費生活課長 環境県民局環境政策課長 健康福祉局食品生活衛生課食品衛生担当監 総務局広報課デジタル・ディレクター
4	議 題	食品ロス削減に係る普及啓発業務委託予定者の選定
5	担当部署	環境県民局循環型社会課
6	開催方法	1 参集（オンライン開催） 2 持ち回り
7	議事内容	<p>提出された提案書を基にプレゼンテーションによる審査を行い、最も高い評価値を得た A 社（東光印刷株式会社）を最優秀提案者として決定した。</p> <p>1 審査対象者 A 社 東光印刷 株式会社（最優秀提案者） B 社 株式会社 中国四国博報堂</p> <p>2 審査結果 （1）審査対象者の評価値 別紙のとおり</p> <p>（2）提案者ごとの主な評価・選定理由 【A 社 東光印刷 株式会社】 ・自社による能動的なアプローチを各方面に予定しており、業種に偏りなく募集可能である。 ・持ち帰り宣言カードに消費者の理解を促進するための工夫がなされている。 ・独自の持ち帰り用ツールを提案するなど、効果が高まる工夫がなされている。 ・アンケートの回答率をあげる工夫が行われている。 ・協力店の開拓やターゲット層を意識した広報戦略、衛生面への配慮など、具体的に提案されており着実な実施が期待できる。</p>

		<ul style="list-style-type: none"><li>・食中毒の発生等、消費者に持ち帰りの際の最低限の注意事項を消費者に伝えることとしている点で優れている。</li></ul> <p><b>【B社 株式会社 中国四国博報堂】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・モデル地区でのイベントがメディア露出も意識して具体的に提案されており効果が期待できる。</li><li>・多様な広報媒体とイベント等が連動する企画が具体的に提案されており効果が期待できる。</li><li>・持ち帰り宣言カード等、消費者が持ち帰りを店舗に言い出しやすい工夫が検討されている。</li><li>・飲食関係の事業実績を数多く有しており、蓄積されたノウハウから、着実な事業実施が期待できる。</li><li>・事業目標の達成に向けた具体的なプロセスが示されておらず、実現可能性に疑問が残る。</li></ul>
--	--	---